

大阪  
成蹊

学園報

WAVE

第36号

2020年1月9日発行  
発行 学校法人 大阪成蹊学園  
広報企画本部 広報企画部  
〒533-0007  
大阪市東淀川区相川13丁目10番62号  
TEL: 06-6829-2606  
https://osaka-seikei.jp

大阪成蹊大学

## 世界陸上2019ドーハに出場 青山聖佳選手

大阪成蹊大学卒 現職員



写真提供 SHOT

男女混合4×400mリレーに出場し  
日本記録を更新

大阪成蹊大学の卒業生で、現在大阪成蹊大学職員である青山聖佳選手が、2019年9月27日(金)～10月6日(日)、カタールの首都ドーハで開催された「第17回世界陸上競技選手権大会」に男女混合4×400mリレーの代表選手として出場しました。青山選手は島根県松江商業高等学校出身で、2015年に大阪成蹊大学に入学。在学中4年間女子陸上競技部に所属し、エースとして同部の活躍に大きく貢献しながら、国内外の大会で素晴らしい結果を数多く残してきました。2019年の卒業後は大阪成蹊大学職員として勤めながら、引き続き女子陸上競技部を拠点とし、瀧谷賢司監督の指導のもと、2020年の東京オリンピック出場をめざして練習を重ねています。一時はスランプに苦悩したこともあった青山選手でしたが、2019年6月に行われた日本選手権では女子400mで3年ぶりに日本一の座に返り咲いたことで注目が集まっていた。

今回の世界陸上競技選手権大会は、開催が迫る東京オリンピックの前哨戦と位置づけられ、東京オリンピックでメダル獲得を狙う選手が多数出場して

おり、非常に注目される中での開催となりました。実施種目は49種目、210の国・地域から男女2000人超にのぼる数の選手が参加し、日本からは、男子40名、女子19名の代表選手が出場。青山選手が出場したのは、2020年東京オリンピックの新種目としても注目される「男女混合4×400mリレー」です。東京オリンピックでは、陸上競技だけではなく競泳や卓球、柔道、トライアスロンなど複数の競技で男女混合の新種目が追加されています。

男女混合4×400mリレーのチーム編成は男女各2名。男女の走順は決められていないため、その最後まで読めない展開に観客席が大いに湧いたレースとなりました。他のほとんどの国とは正反対の「女子・男子・男子・女子」の布陣で挑んだ日本チームでは、青山選手が第一走者として走り、第三走者では日本がトップに躍り出るシーンもありました。結果は惜しくも予選8位で決勝進出は叶いませんでしたが、チームはこれまでの日本記録であった3分19秒71を更新し、3分18秒77の新記録を樹立しました。

## さらに国体女子400mで優勝

帰国した青山選手はその後すぐに、10月4日(金)～8日(火)に茨城県で開催された「第74回国民体育大会」に島根県代表として出場。女子400mで日本選手権に続き、53秒74の記録で見事優勝を勝ち取りました。

さらにその後青山選手は、10月19日(土)に新潟県のデンカビッグスワンスタジアムで開催された「Denka アスレチックスチャレンジカップ2019」の女子200mと400mに出場。「日本グランプリシリーズ」14大会の中の1つであるこの大会にも、オリンピック出場を狙うトップアスリートが集いました。青山選手は、200mでは3位、400mでは国体に引き続き見事優勝を飾りました。

今年はオリンピックイヤー。オリンピック出場への鍵となるのが、2020年6月25日(木)～28日(日)にヤンマースタジアム長居(大阪)で開催される「第104回日本陸上競技選手権大会」です。青山選手を、大阪成蹊学園一丸となって応援しましょう。



写真提供 月刊陸上競技

写真提供 月刊陸上競技

## 青山選手コメント

昨シーズンは目標であった日本選手権優勝、ドーハ世界選手権に出場することができ充実した1年となりました。スランプに陥り陸上競技から離れることも考えましたが、多くの方の支えがあり、復活することができました。ですが、課題も多くあるので、これからの練習で改善していきます。そして、東京五輪の400mと4×400mリレーに出場できるよう精進していきます。

## 青山選手のおもな戦績

2015年	第15回世界陸上選手権大会(北京) 4×400mRで3分28秒91の日本新記録を樹立。
2016年	第100回日本陸上競技選手権大会400m優勝。
2017年	吉岡隆徳記念第71回出雲陸上競技大会 300m 37秒76の日本最高記録樹立。
2019年	第103回日本陸上競技選手権大会 兼 ドーハ2019世界陸上競技選手権大会 日本代表選考競技会400m優勝

## 監督コメント

約2年間の試練期を乗り越えた結果、昨年のシーズンは予想以上の成績を残す事が出来ました。何事も諦めることなく、可能性を信じることの大切さを改めて感じる事が出来ました。2020年はオリンピックイヤーです。昨年11月からはオリンピックに向けての厳しい鍛錬が続いています。青山選手の良さは純粋・素直に

頑張り通せる力を持っているところです。目標はリレーの出場権獲得も一つですが、400mで日本記録を更新し、青山個人が、400mで出場することが最大の目標だと思っています。大阪成蹊学園の力を追い風に頑張ってくれと思います。背中を押してあげてください。

## 監督経歴

2012年創部以来女子陸上競技部をきめ細やかに指導し、2015年の天皇賜杯第84回日本学生陸上選手権大会で総合3位の後、2016年には創部5年目にして初の総合優勝を勝ち得た。2017年には総合3位を手中に収め、大学陸上競技界で強豪校との評価を得ており、世界陸上競技選手権大会、ユニバーシアードに選手を輩出している。また、2020年東京オリンピックに向けて、日本女子リレー強化コーチとしても活動している。



瀧谷賢司監督

スポーツ&カルチャーセンター副センター長  
大阪成蹊大学 女子陸上競技部監督  
大阪成蹊大学 マネジメント学部教授